

因果関係で読解問題を解く③

①次の文章を読み、指示に従いなさい。

(※若菜は京都の小さな旅館の孫娘であり、旅館で仲居として働いている。慎太郎は同年代の板前見習い。紗良は若菜の中学時代の同級生であり、現在は舞妓として働いている。)

今日一日、うちは何を学んだんやろう。

若菜はそう思った。

毎日同じことの繰り返し。

でも、注意されてばかり。

お客様にも表面的なおもてなししかでけへん。

それに比べて、花板になろうと慎太郎は頑張っている。

紗良は人の心を晴れやかにする仕事を立派にこなしている。

自分の仕事に、一体どんな意味があるんやろう。

そんな自問自答を、若菜は繰り返した。

家に着くと、祖父母も宿泊客もすでに眠っているようだった。

旅館は静かな暗闇に満たされている。

自室に戻りスマートフォンを見ると、紗良からLINEが来ていた。

「若菜、頑張ってるやん」とメッセージが届いていたのである。

「全然、あかんよ……」

読解問題

△問一▽最後の場面で、若菜は「全然、あかんよ……」とつぶやいています。この場合、セリフの裏側にある感情と、その感情が湧き上がった原因について、別々に考えます。まず、「セリフの裏側にある感情」を答えなさい。

※「あかんよ」とは、誰に対しての言葉か

自分に対しての言葉

※誰の何に対しての、否定の言葉なのか。

自分の紅牛に対して。

※どうしてそう考えてしまったか。事実+心情

意味がな〜ことと思っ〜しまい
☆ 俺も気がな〜な〜りよ

△問二▽次に若菜が自分をだめだと思った原因、を考えます。
まず、次の図の空欄を埋めなさい。

ア
事実

イ
心情

ウ
言動
あひんよー

図を参考にして、若菜が「あかんよ」とつぶやいた原因を書きなさい。



△問三▽

最後で若菜は「全然、あかんよ……」と呟いています。
若菜がそうつぶやいたのは、何故ですか。答えなさい。

※**事実**＋**心情**で答える。
